

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート(総括)

評価	評価基準	事業数	
A	実績値が目標値以上	10	33.3%
B	実績値が目標値に対して80%以上100%未満	4	13.3%
C	実績値が目標値に対して60%以上80%未満	2	6.7%
D	実績値が目標値に対して60%未満	14	46.7%
計		30	

基本目標1		西原町に仕事をつくる 西原町の強みをいかしたしごとをつくり、働きやすい環境づくりによる雇用の促進をする
数値目標		従業員者数:5年後までに従業員者数を810名増加させる(経済センサス)
具体的な施策		ア)立地を活かした企業誘致と基盤整備 イ)ライフスタイルに合った雇用環境の整備と人材育成□
【現状分析】		
評価	事業数	市街化区域の拡大や道路事業等の進捗により新規店舗進出がみられ、基盤整備の効果が一定程度現れ始めている。一方、企業誘致については、取組状況が低調となっているため、最終年度の目標達成に向けて計画的な取り組みが必要である。 雇用環境の整備と人材育成については、新規就業者が目標値を上回るなど、目標達成に向け確実な取り組みが図られている。引き続き、各事業さらなる周知・啓発および体制強化を行い、働きやすい環境づくりに取り組んでいく。
A	1	
B	1	
C	1	
D	3	

基本目標2		人の流れをつくる 西原町の魅力を発信することで町外との交流機会を生み出し、人を引き込むまちづくりを推進する
数値目標		関係人口・交流人口数:100万人
具体的な施策		ア) 西原町らしいまちづくりによる関係・交流人口の拡大 イ) 地域資源を活用した観光産業振興
【現状分析】		さわふじ未来ホールを活用した関係・交流人口の拡大については、多くの自主事業の開催もあり順調に増加している。一方、スポーツチームの合宿誘致については取組みが低調であるため、体制強化や設備の充実を図るとともに、各施設のPR活動等にも取り組む必要がある。 観光産業振興については、引き続き、西原さわふじマルシェをはじめとした観光施設や史跡等の文化財に訪れる方が安全で快適に利用できるよう環境整備に取り組む。
評価	事業数	
A	2	
B	1	
C	0	
D	4	

基本目標3		結婚・出産・子育ての希望をかなえる 働きながら結婚・出産・子育てができる西原の特性を活かした環境づくりを推進する
数値目標		合計特殊出生率を人口置換水準「2.1」
具体的な施策		ア)子育てしながら働ける環境づくり イ)安心して結婚・出産・子育てのできる環境の充実 ウ)児童の居場所づくり
【現状分析】		
評価	事業数	働きながら結婚・出産・子育てができる環境づくりについては、こども向けイベントの開催や母子保健サービスの充実など実績値がおおむね目標値を上回っており、堅調に推移している。居場所づくりの拡大については現時点で目標値を達成しており、期待以上の成果となっている。一方、目標値を達成できていない事業については、取組の周知活動の強化や体制の強化などにより、より多くの子育て世帯にサービスを利用してもらえるよう工夫が必要である。
A	5	
B	1	
C	0	
D	1	

基本目標4		魅力的な地域をつくる 安心して健康で暮らせる西原町らしい魅力あるまちづくりを推進する
数値目標		本町に住みたいと答えた人の割合：75%
具体的な施策		ア)質の高い教育・保育環境づくり イ)時代にあった地域づくり ウ)安心・安全な暮らしづくりの推進
【現状分析】		質の高い教育・保育環境づくりについては、目標以上の成果がみられた。引き続き、全ての児童生徒及び教員がICT機器をスムーズに活用できるよう、サポート体制の強化や環境整備を計画的に行っていく。 時代に合った地域づくりについては、環境整備を実施中または計画改定中となっているため、進捗状況は低調となっている。 安心・安全な暮らしづくりの推進については、各種検診の受診率が低調であるため、健康についての意識改革に向けて周知活動の強化や体制強化に取り組む必要がある。
評価	事業数	
A	2	
B	1	
C	1	
D	6	

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標1:西原町に仕事をつくる 西原町の強みをいかしたしごとをつくり、働きやすい環境づくりによる雇用の促進をする
数値目標	従業員者数:5年後までに従業員者数を810名増加させる(経済センサス)
具体的な施策	ア)立地を活かした企業誘致と基盤整備 ①地域資源を活用した企業の誘致

※(評価基準)

- A:実績値が目標値以上
B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満
C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満
D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:ア)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ア ①	企業誘致数	-	0件				1件以上	D 0.0%
(2)	ア ①	汚水処理人口普及	74%	74.7%				85%	D 6.4%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1)企業誘致に関して、沖縄県産業立地・地域活性化推進協議会に参画し、関係自治体や各機関と連携、研修等を通して町内における企業の立地施策の推進を図っている。 (2)公共下水道整備において、マンホールポンプ施設整備も行ったため管渠延長が計画より進捗が遅れている。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1)誘致活動に関する情報収集を重点的に実施したが、企業の誘致について実績はなかった。 (2)汚水処理人口普及率の向上は、初年度であり目標に達していないが今後、下水道整備が進むと増加すると思われる。
改善点 (Action)	(1)企業誘致に向けて、候補地の情報収集や産業用地の確保に向けた取り組みを検討する必要がある。 (2)整備個所の優先順位を再考し整備を行う必要がある。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1)沖縄県産業立地・地域活性化推進協議会への参加を通して、関係機関との連携や、研修等を通じた企業誘致について情報収集を進め、産業用地の確保に必要な施策の推進を目指す。 (2)早期に工事を発注することで施工業者確保に努め、安定した事業進捗を図る。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標1: 西原町に仕事をつくる 西原町の強みをいかしたしごとをつくり、働きやすい環境づくりによる雇用の促進をする
数値目標	従業員者数: 5年後までに従業員者数を810名増加させる(経済センサス)
具体的な施策	イ) ライフスタイルに合った雇用環境の整備と人材育成 ① 地元産業の次代を担う人材の育成に向けた取り組みの推進 ② 高齢者が健康で生きがいを持って働くことができる環境の促進

※(評価基準)

A: 実績値が目標値以上

B: 実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C: 実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D: 実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:イ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	イ ①	新規就業者	55名	66名				20名	A 330.0%
	イ ①	スキルアップ講座 受講者	69名	84名				200名	D 42.0%
	イ ①	求人情報の掘り起し	17名	17名				20名	B 85.0%
(2)	イ ②	シルバー人材セン ター会員数	225名	217名				286名	C 75.9%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1) 地域の雇用施策の推進を目指して、西原町雇用サポートセンターを運用し、町内の求職者と地元企業のマッチング支援による雇用の創出、求職者へのセミナーや講座を実施した。 (2) 西原町シルバー人材センターへの補助を通して、高齢者の就業機会の創出や生きがいづくりの機会の醸成を図った。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1) コロナ禍が落ち着いたことで、企業の人材不足等による雇用のニーズが増大したことから、就業者数は増加傾向にある。講座の受講数や求人情報数についても、堅調に推移している。 (2) シルバー会員数は、就業できなくなった高齢会員の退会が要因となり、減少傾向にある。
改善点 (Action)	(1) 雇用サポートセンターへの利用者数・求職者の登録数は年間を通して一定数おり、サポート体制の維持が必要。中高年や生活困窮者、障がい者などは就職に向けた細かなサポートが必要なため、その点を強化する。また、町民及び町内事業者への周知啓発を推進し、利用促進を図る。 (2) 町シルバー人材センターの取り組みについても、周知啓発の推進を図る。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1) 雇用サポートセンターの継続的な運用を図る。中高年や生活困窮者、障がい者等へのサポートに向けて、各種担当窓口と適切な連携を進める。町民への広報及び町内事業者の利用促進を目指して、引き続き周知啓発に努める。 (2) 町シルバー人材センターにおける新規会員増強の取り組みや、受注業務の確保に向けて周知啓発の推進を図る。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標2: 人の流れをつくる 西原町の魅力を発信することで町外との交流機会を生み出し、人を引き込むまちづくりを推進する
数値目標	関係人口・交流人口数: 100万人
具体的な施策	ア) 西原町らしいまちづくりによる関係・交流人口の拡大 ① 町民交流センターの活用 ② 競技場整備による県内外スポーツチームの合宿及び試合会場誘致等 ③ 生涯学習と交流・賑わいの新拠点の整備

※(評価基準)

- A: 実績値が目標値以上
B: 実績値が目標値に対して80%以上100%未満
C: 実績値が目標値に対して60%以上80%未満
D: 実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策: ア)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ア ①	イベント集客数	-	16,419名				(のべ) 7,500名	A 228.0%
(2)	ア ②	誘客スポーツチーム数	2件	1件				(のべ) 10件	D 30.0%
(3)	ア ③	供用開始	-	0件				供用開始 1件	D 0.0%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1) さわふじ未来ホールにて様々なイベント(自主事業5件、民間イベント年間約20件)が行われ町外からも多くの来訪者があった。 (2) 誘客スポーツチームはヴィッセル神戸(J1)の1チームであった (3) 生涯学習の拠点となる中央公民館を再整備すべく、町民ワークショップや民間事業者等サウンディング調査等を実施し、有識者委員会において基本計画(案)を取りまとめたが、物価高騰の影響による想定事業費の増額及び財源調達の不確実性等により事業を継続推進することが困難となった。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1) 自主公演を3公演開催できたこと、コロナ禍から各種イベントが復活したことで目標を大きく上回ることができた。 (2) サッカーキャンプの受け入れについて、県からの割り当てが2チームから1チームに減ったために低調であった。誘客スポーツチームを増やすためには芝管理の体制を強化する必要があるため、1シーズンに3チーム以上の受け入れは現状では厳しい状況である。 (3) 物価高騰の影響及び財源調達の不確実等を理由に事業休止となった。
改善点 (Action)	(1) イベントの開催回数を増やすために、ホールのPRを図る必要がある。 (2) 誘客スポーツ数を増やすためにはグラウンドの芝管理の体制と設備を充実させる必要がある。 (3) 新たな町民活躍の拠点づくり(生涯学習拠点の再整備)について、事業意義を含め、これからの時代に真に求められる「町民活躍の取り組みの方向性」を再整理し、財源や参画事業者等にも留意しながら、実現可能な事業内容を目指す。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1) 町民交流センターをどう活用して生涯学習と交流・賑わいの拠点として機能させていくのか検討する。令和6年度の取組としては、グローバルフェスタなどの自主事業を実施する。 (2) 芝刈り機を新規購入し、サッカーキャンプ受入体制を強化する。 (3) 全ての町有施設(公共施設、公共的施設)を対象に、各施設の意義、必要性、老朽度、修繕費用、更新費用、統廃合の可能性等、総合的な視点から優先順位を整理する。本事業においては、当該順位整理の結果を踏まえ、必要な議論を推進する。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標2: 人の流れをつくる 西原町の魅力を発信することで町外との交流機会を生み出し、人を引き込むまちづくりを推進する
数値目標	関係人口・交流人口数: 100万人
具体的な施策	イ) 地域資源を活用した観光産業振興 ① 観光キャラクターを活用した各種イベントの開催 ② 沖縄らしい風景の保全による観光客の誘客促進 ③ 国指定史跡「内間御殿」をはじめとする町内に散在する文化財を観光資源へ利活用

※(評価基準)

A: 実績値が目標値以上

B: 実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C: 実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D: 実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策: イ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	d	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	イ ①	観光キャラクター の稼働実数	84回	129回				100回以上	A
									129.0%
(2)	イ ②	町運動公園の利用 者数	8万人	12万人				16万人	D
									50.0%
(3)	イ ③	マリンパーク周辺 公園利用者数	77万人	89万人				90万人	B
									92.3%
(3)	イ ③	文化財巡り等イベ ント参加者	119名	133名				170名	D
									27.5%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1) 町内外の各地で、観光キャラクター「さわりん」が出演し、各イベントに出演するなど西原町のPRに取り組んだ。 (2) 公園の利用者数を増やすため、西原運動公園、東崎公園、東崎都市緑地の樹木芝等の除草をシルバー人材センターへ業務委託し、環境整備に取り組んだ。 (3) 町内文化財及び文化財周辺24箇所の環境整備・美化業務を始め、倒壊の恐れのある文化財1箇所の修繕整備、文化財の説明板3基の張替業務及び町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ」の診断業務を行った。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1) コロナ禍が落ち着き、各種活動が正常化してきたこともあり、出動件数は増加傾向にある。 (2) 目標値に対して順調に推移している。 (3) コロナ禍が落ち着き、文化財巡り等イベントの参加者は増加傾向にある。
改善点 (Action)	(1) さわりんの出動依頼件数も増加しており、できるだけ広く対応していきたい。 (2) 草木の成長著しく、令和5年度の業務委託内容では除草が間に合わない箇所があり、次年度以降は除草回数を増やすことを検討する。 (3) 活用の多い国指定史跡「内間御殿」について、活用機会が多く、訪問する人も多いため、除草回数を増やすことを検討する。また、空洞化した高木が多くみられ、幹折れ・倒木等の危険性の有無を確認する必要がある。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1) 引き続き、各地へ積極的に出動を展開して、西原町のPRを図る。 (2) 次年度以降は除草回数を増やすことで、これまでよりも沖縄らしい風景・景観の維持を図り、町内外の来訪者や公園利用者等が安全で快適に利用できるよう、環境整備に取り組む。 (3) 活用の多い国指定史跡「内間御殿」について、次年度以降は除草回数を増やすことを予定している。また、「内間御殿」の高木等のモニタリング調査を実施し、幹折れ・倒木等の危険性について調査を行い、より安心安全に文化財を活用するための整備に取り組む。また、町指定天然記念物「内間御殿のサワフジ」の治療も実施する予定である。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる 働きながら結婚・出産・子育てができる西原の特性を活かした環境づくりを推進する
数値目標	合計特殊出生率を人口置換水準「2.1」
具体的な施策	ア)子育てしながら働ける環境づくり ①課外活動での居場所づくり支援

※(評価基準)

A:実績値が目標値以上

B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:ア)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ア ①	イベント数	-	5回/年				5回/年	A 100.0%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	生涯学習課・西原町青少年健全育成協議会・西原町子ども会育成連絡協議会が開催した 児童生徒向けの講座(三線講座等)・イベントを実施した。
KPIによる事業 評価 (Check)	西原町青少年健全育成協議会や西原町子ども会育成連絡協議会と連携して目標値であ るイベント数5回/年を実施できた。
改善点 (Action)	イベント数は目標を達成することができたが、より多くの子どもたちにイベント等に参加して もらうためにも、関係団体と協力して取組の周知等の強化が必要。また、様々な子どもが 興味を持って参加できるようなイベントにするためにも、より多くの子どもたちに協力しても らいながら企画・運営等を実施する。
次年度以降の 取組 (Plan)	関係団体と連携して、子どもたちが参加できるイベントやサークル活動等についての周知 強化を図る。 令和6年度には、自然探検や工作等の講座、ビーチクリーン活動等を開催予定。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる 働きながら結婚・出産・子育てができる西原の特性を活かした環境づくりを推進する
数値目標	合計特殊出生率を人口置換水準「2.1」
具体的な施策	イ)安心して結婚・出産・子育てのできる環境の充実 ①妊産婦・乳幼児への母子保健サービスの充実 ②「発達の気になる子」と保護者を対象とした個別的、集団的指導

※(評価基準)

A:実績値が目標値以上

B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:イ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	イ ①	訪問人数 (母子保健事業)	妊産婦 41人/年	妊産婦 270人/年				妊産婦 50人/年	A 540.0%
			新生児乳児 136人/年	新生児乳児 265人/年				新生児乳児 150人/年	A 180.0%
(2)	イ ①	参加者数 (ベビースクール事業)	113人/年	82人/年				150人/年	D 50.0%
(3)	イ ①	実施回数 (乳児家庭全戸訪問事業)	161回/年	218人/年				対象者の9割 以上実施	B 80.0%
(4)	イ ①	通園親子数 (親子通園(デイサービス)事業)	8組	10組				8組	A 130.0%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1)(2)(3)出生届けの際に周知を行い、事業実施した。 (4)乳幼児健診で発達の気になる子とその保護者を対象に事業実施した。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1)(4)の事業については、目標値を達成できた。 (2)ベビースクールについては、目標人数を受け入れる場所が無いのと、託児スタッフの確保が困難であることにより、目標値を達成できなかった。 (3)乳児家庭全戸訪問事業については、訪問しても会えない、連絡がつかない事例があったため、対象者(270人)の9割以上(243人)の目標値を達成できなかった。
改善点 (Action)	(2)ベビースクールは申込み人数に応じ開催回数を増やす。 (3)乳児家庭全戸訪問事業の周知の方法を工夫する。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1)(4)今後も継続して事業を実施する。 (2)ベビースクールは申込み人数に応じ開催回数を調整する。 (3)乳児家庭全戸訪問事業のチラシを修正する。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標3:結婚・出産・子育ての希望をかなえる 働きながら結婚・出産・子育てができる西原の特性を活かした環境づくりを推進する
数値目標	合計特殊出生率を人口置換水準「2.1」
具体的な施策	ウ)児童の居場所づくり ①貧困等の問題を抱えるこどもの支援

※(評価基準)

A:実績値が目標値以上

B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:ウ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ウ	居場所づくり自治 会数	6自治会	10自治会				9自治会	A
	①								110.0%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	こども又は将来的に貧困に陥る可能性があるこどもの居場所の運営に対し支援を行っている。具体的には、各自治会に補助金を交付し、食事支援、基本的な生活支援、基本的な学習支援、キャリア形成支援、その他こどもの居場所づくりに関する事業を自治会が実施できるように支援している。
KPIによる事業 評価 (Check)	評価指標である居場所づくり自治会数は10か所と目標を達成している。ただし、実施自治会の地域的な偏りや各居場所間の活動内容に差が生じてきている。
改善点 (Action)	各自治会のスキルアップができるよう自治会への支援や情報交換会を実施する。
次年度以降の 取組 (Plan)	各自治会の状況に応じた情報提供を行う。また、町との連携やこどもへの支援方法等スキルアップを図れるよう自治会への支援を行う。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標4:魅力的な地域をつくる 安心して健康で暮らせる西原町らしい魅力あるまちづくりを推進する
数値目標	本町に住み続けたいと答えた人の割合:75%
具体的な施策	ア)質の高い教育・保育環境づくり ①質の高い教育による魅力ある教育環境の整備

※(評価基準)

A:実績値が目標値以上

B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:ア)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ア ①	アンケート調査 (学校DX推進 支援事業) ※支援員配置	-	教職員 94% 児童生徒 96%				教職員のアンケートにて ICT機器を活用した授業を 自ら行えるとする回答を全 員(100%)とする。 児童生徒アンケートにて昨 年よりもICT技術の利活用 能力が向上したとする回答 を70%とする。	B
									94%
									A
									137.1%
(2)	ア ①	アンケート調査 (学校教室ICT 環境整備事 業) ※大型投影装 置整備	-	90%				全国学習状況調査の大型 投影装置等を活用した事 業の実施日数を全学校に おいて、ICT機器を活用し た授業の実施率75%以 上。	A
									120%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1)町立小中学校6校へICT支援員2名を配置し、教員及び児童生徒に対してICTの活用方法をサポートし、ICT活 用力向上を図った。 (2)坂田小学校に電子黒板43台の整備・更新を行った。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1)教員に対するアンケート「ICTを活用した授業を自ら行える」100%に設定したが、結果は94%と、目標を達成出 来なかった。ICT活用指導力について、個々の教員で差があると考えられる。 (2)整備・更新を行った坂田小学校の活用率は目標値を超えて90%となり、ICT機器を授業に積極的に活用してい ることが確認できる。
改善点 (Action)	(1)(2)個々の教員のICT活用指導力に差があると考えられるので、引き続き活用支援や研修を行い、授業に役立て るよう支援していく。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1)(2)教員間のICT活用指導力の差をなくすため、各学校においてICT活用指導力のニーズに応じた支援を実施 し、教員のICT活用指導力の向上を図る。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標4:魅力的な地域をつくる 安心して健康で暮らせる西原町らしい魅力あるまちづくりを推進する
数値目標	本町に住みたいと答えた人の割合:75%
具体的な施策	イ)時代にあった地域づくり ①多様なツールを活用した情報配信 ②居住環境を整える基盤整備による定住人口の増加 ③安心・安全に暮らし、活気のある都市形成

※(評価基準)

- A:実績値が目標値以上
B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満
C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満
D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:イ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	イ ①	町ホームページアクセス数	170万件	136,942件 (期間R5.6.7~ R6.3.31)				187万件	D 7.0%
(2)	イ ②	社会増減数	28人/年	-83人/年				50人/年	D -166.0%
(3)	イ ②	河川の水質改善	3.5mg/L	3.5mg/L				2.0mg/L	D 57.1%
(4)	イ ③	西原町都市計画 マスタープラン改定率	-	0%				100%	D 0.0%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1)集計方法の変更により、実績数が大幅に減少している。ホームページを行政情報発信の基盤とし、ホームページへ誘導するため、広報紙、町公式SNSで積極的に行政情報を発信した。 (2)公共下水道及び浄化槽の整備を一体的に整備し、河川及びビーチの水質改善を図り住環境の向上や活性化による定住促進を行ったが、前年度から-83人となっている。 (3)浄化槽切り替えについては、計画では当該年度は18基を整備する予定だったが、申請件数が無かった。 (4)都市計画マスタープラン改定中
KPIによる事業 評価 (Check)	(1)集計方法の変更の影響で実績数が大幅に減少したが、情報発信についてはこれまでと同様安定的に実施していたため、ホームページ閲覧者の実質的な件数に大きな変動はないと思われる。 (2)初年度であり目標に達していないが今後、下水道整備が進むと増加すると思われる。 (3)河川の水質改善については、現状維持となっている。 (4)大型MICE施設の整備と連携し取り組みを行う。
改善点 (Action)	(1)デザインが古く、スマートフォンやタブレット端末に対応していない。音声読み上げや自動翻訳機能による視覚障がい者や外国人にも利用しやすくする必要がある。緊急時や夜間・休日の更新に対応できる必要がある。 (2)早期に工事を発注する等、施工業者確保に努め安定した事業進捗を図る必要がある。 (3)町民の環境への意識向上を図り単独浄化槽から合併浄化槽へ切り替えを促す必要がある。 (4)大型MICE施設の早期整備が必要である。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1)ホームページのリニューアルを実施し、より情報が伝わりやすいように整備する。 (2)公共下水道整備については、整備個所の優先順位を再考し整備を行う。 (3)町HPや広報紙等を活用し水質改善への意識向上を図り、合併浄化槽への切り替えを推進する。 (4)大型MICE施設の早期整備が必須である。

西原町デジタル田園都市構想総合戦略 施策進捗評価シート

【1】取組内容

基本目標	目標4:魅力的な地域をつくる 安心して健康で暮らせる西原町らしい魅力あるまちづくりを推進する
数値目標	本町に住み続けたいと答えた人の割合:75%
具体的な施策	ウ)安心・安全な暮らしづくりの推進 ①地域防災力の強化 ②健康で活力ある地域づくり

※(評価基準)

A:実績値が目標値以上

B:実績値が目標値に対して80%以上100%未満

C:実績値が目標値に対して60%以上80%未満

D:実績値が目標値に対して60%未満

【2】重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指数 (具体的な施策:ウ)			基準値 (R3年度)	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (R9年度)	評価 (R5年度)
(1)	ウ ①	災害時備蓄食等の備蓄率	52.3%	40.3%				飲料水備蓄率 100%	D 40.3%
(2)	ウ ②	特定健診受診率	36.8%	40.2%				60.0%	C 67.0%
(3)	ウ ②	がん検診受診率	胃がん検診 9.7%	胃がん検診 9.0%				50.0%	D 18.4%
			がん検診 7.0%	肺がん検診 6.6%					D 13.2%
			大腸がん検診 6.8%	大腸がん検診 6.4%					D 12.8%
			子宮頸がん検診 7.3%	子宮頸がん検診 10.4%					D 20.8%
			乳がん検診 4.0%	乳がん検診 8.3%					D 16.6%

【3】今後の課題と方針

事業実施内容 (Do)	(1)備蓄用飲料水は、計画どおり(500ml)9,792本を購入、整備した。 (2)特定健診においては、SMSやハガキによる未受診者対策、地区担当専門職による継続受診勧奨を実施した。 (3)対象者に受診券を送付し、がん検診(集団検診及び個別検診)を実施した。
KPIによる事業 評価 (Check)	(1)備蓄率は目標値達成に向けて順調に推移している。 (2)特定健診受診率は目標値達成に向けて順調に推移している。 (3)検診率は低水準で推移しており目標値を下回っている。町の受診券を利用しない健保組合の被保険者等の受診者の把握ができていない。
改善点 (Action)	(1)特になし。引き続き事業を行う。 (2)特定健診の受診勧奨を実施できなかった対象者が一定数いた。また、受診勧奨をしても受診に至らなかった対象者については、新たな文面や手法による受診勧奨を実践していく必要がある。 (3)検診の受診勧奨等を見直す必要がある。
次年度以降の 取組 (Plan)	(1)備蓄飲料水については、全てが同時に期限切れとなることが無いよう、単年度ではなく、R9年度までに備蓄率100%整備を行う。 (2)特定健診対象者を特性毎に分類し、それぞれに効果的と思われる受診勧奨を実践していく。 (3)健康についての広報、健康講座の開催、商工会と連携した受診勧奨等により検診に対する意識向上を図る。